

## ジンバブエ経済（経済情報の週間とりまとめ：7月第3・4週目）

- 1 価格と為替レートの安定
- 2 経済安定のための金融措置が実を結ぶ
- 3 アフリカ開発銀行（AfDB）：インフレ率は、2024年には二桁に低下する
- 4 食料価格が30%減少

### 1 価格と為替レートの安定

為替レートが安定を見せている一方で、国内通貨と経済不安定は続いていることから、ムナガグワ大統領は、二重通貨制度を近々廃止する可能性があると述べた。8月の総選挙に向けた野党の選挙集会では、為替レートの不安定と物価高騰は与党 ZANU-PF や政府の責任であると批判している。6月27日以降、ZWL は31%その価値を取り戻している。（21日付、ヘラルド紙）

公式レートは4,505ZWL/米ドル、パラレル市場レートは6,100ZWL/米ドルとなった。（29日付、ヘラルド紙）

ヌーベ財務・経済開発大臣は、現在の国内経済の安定は継続し、基本消費財の価格も低下していくとし、「引き続き新たな措置も導入し、為替レートと基本消費財の価格を安定させるための経済政策の調整も行って行く。」と述べた。（24日付、デイリーニュース紙）

### 2 経済安定のための金融措置が実を結ぶ

政府とジンバブエ中央銀行（RBZ）により、経済安定と価格高騰抑制のために導入された金融措置により、6月のインフレ率は15.3%下がり、74.5%となり、価格も減少を見せた。金融政策委員会（MPC）は、措置導入の成果に満足しているとし、月間インフレ率が引き続き低下をみせることを期待すると述べた。（29日付、ヘラルド紙）

### 3 アフリカ開発銀行（AfDB）：ジンバブエのインフレ率は、2024年には二桁に低下する

AfDB は、政府の金融引締政策により、2024年には国内インフレ率は下がると予測する一方で、ジンバブエは、南部アフリカ地域で最も高い貧困率（64.5%）を記録したと報告した。南部アフリカ地域のインフレ率は、2024年には6.7%まで減少すると予測されており、なかでもジンバブエのインフレ率は2,022年の184.1%から、2024年は36.1%まで低下すると報告した。（31日付、ニュースデイ紙）

### 4 食料価格が30%減少

7月の食料及びノンアルコール飲料類の価格が、平均で30%減少した。数週間前は、ZWL

価値の減少による価格が高騰していたが、現在はその3分の1の価格減少がみられた。政府による経済安定政策により、6、7月間の月間インフレ率は-15.3%、食料及びノンアルコール飲料類における月間インフレ率は-30.7%、食料以外の月間インフレ率は2.4%の減少を記録した。(30日付、サンデーメール紙)